

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 3515 URL <http://www.fujico-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野添 誉之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務本部長

(氏名) 西脇 敬

TEL 072-772-1101

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,409	0.0	△64	—	13	△86.5	△4	—
24年3月期第3四半期	6,406	△10.0	51	△82.1	101	△60.6	18	△86.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △10百万円 (△54.3%) 24年3月期第3四半期 △23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△0.97	—
24年3月期第3四半期	3.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,602	8,916	70.8
24年3月期	12,952	8,988	69.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,916百万円 24年3月期 8,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	103.0	△150	—	△80	—	△60	—	△12.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	5,000,000 株	24年3月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	339,594 株	24年3月期	338,512 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,661,458 株	24年3月期3Q	4,661,639 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、震災復興需要に支えられ緩やかな回復の動きが見られたものの、海外経済の減速を背景とした輸出の減少や欧州における財政不安の長期化等、依然として先行きの不透明感は拭えない厳しい環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループとしましては、今後の如何なる環境変化にも対応して、持続的発展を遂げられるよう、全力を使って付加価値を創出し、社会に貢献するとの事業運営の基本方針を掲げ、全社一丸となって実践に当たってまいりました。

また、グループ経営の効率的運用を図ることを目的として、非連結子会社である有限会社フジコーサービスを平成24年10月1日に吸収合併しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は64億9百万円（前年同四半期比100.0%）、営業損失は64百万円（前年同四半期は営業利益51百万円）、経常利益は13百万円（前年同四半期比13.5%）となりました。

なお、四半期純損失につきましては、4百万円（前年同四半期は純利益18百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 環境・エネルギー資材

世界規模で重要性が高まる環境・エネルギー分野において、ユーザーとの連携強化による売上増加に積極的に取り組みましたが、主要納入先の生産調整等により販売は低調に推移しました。その結果、環境・エネルギー資材事業では、売上高は11億77百万円（前年同四半期比77.8%）、セグメント利益は1億73百万円（前年同四半期比79.4%）となりました。

## 工業資材

OA機器用、各種産業用資材ともに市況は停滞しており、主要納入先の生産調整等により販売は低調に推移しました。その結果、工業資材事業では、売上高は22億27百万円（前年同四半期比91.5%）、セグメント利益は3億60百万円（前年同四半期比122.7%）となりました。

## 建装・自動車資材

各種カーペットについては、展示会等の受注を中心に堅調に推移しました。また、自動車資材についても、新規品の順調な立ち上がりを受注増により販売は好調に推移しました。その結果、建装・自動車資材事業では、売上高は25億47百万円（前年同四半期比128.2%）、セグメント利益は2億50百万円（前年同四半期比132.2%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産・負債・純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間における財政状態につきましては、総資産が126億2百万円と前連結会計年度末に比べて3億49百万円の減少となりました。これは主に、一関工場への設備投資2億79百万円など設備投資を積極的に行った結果有形固定資産が3億10百万円増加し、現金及び預金が4億9百万円、商品及び製品が1億61百万円、受取手形及び売掛金が1億5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債の部は、36億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億78百万円減少となりました。これは主に、賞与引当金が99百万円、長期借入金が82百万円、退職給付引当金が70百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の部は、89億16百万円となり、前連結会計年度末に比べて71百万円減少となりました。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が65百万円、その他有価証券評価差額金が5百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年10月31日に発表しました通り変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の予想とは異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法について、平成10年4月1日以降取得の建物(附属設備を除く)及びリース資産を除き、従来、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当社が平成23年度から随時取り組んでいる大型設備投資(石岡工場新ライン設置、一関工場新設等)は、技術的・経済的な陳腐化リスクが少なく、長期安定的な使用が見込まれております。この変更は、これらの設備が今年度より順次本格稼働することを契機に、有形固定資産の減価償却方法を検討した結果、既存設備においても修繕費等の維持コストも每期平準的に発生しており安定的に使用されていることと、技術的・経済的陳腐化リスクも少ないことから、減価償却費を每期均等化して計上する定額法の方が収益との合理的な対応を図ることができると判断したことによるものです。

この変更に伴い、従来の方と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業損失は83,975千円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ83,975千円増加しております。

(4) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、従業員数平均人員が135名増加し、385名となりました。

従業員平均人数の増加の要因は、平成24年10月1日付で非連結子会社である有限会社フジコーサービスを吸収合併したことによるものであります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,441,753	2,032,578
受取手形及び売掛金	3,038,503	2,932,574
有価証券	69,865	26,068
商品及び製品	1,198,247	1,036,515
仕掛品	240,982	254,967
原材料及び貯蔵品	380,322	425,870
繰延税金資産	76,327	37,481
その他	89,980	62,229
貸倒引当金	△340	△1,345
流動資産合計	7,535,642	6,806,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,656,249	2,920,057
減価償却累計額	△1,429,460	△1,482,696
建物及び構築物（純額）	1,226,788	1,437,360
機械装置及び運搬具	5,652,354	5,933,560
減価償却累計額	△5,038,662	△5,099,477
機械装置及び運搬具（純額）	613,691	834,082
土地	1,154,826	1,154,826
建設仮勘定	258,202	127,311
その他	289,222	312,145
減価償却累計額	△233,178	△245,467
その他（純額）	56,043	66,678
有形固定資産合計	3,309,552	3,620,259
無形固定資産		
のれん	132,196	112,366
その他	89,619	101,107
無形固定資産合計	221,815	213,474
投資その他の資産		
投資有価証券	909,307	932,952
繰延税金資産	230,330	285,621
その他	775,375	775,525
貸倒引当金	△29,522	△31,923
投資その他の資産合計	1,885,490	1,962,176
固定資産合計	5,416,858	5,795,909
資産合計	12,952,501	12,602,849

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,575,025	1,548,518
短期借入金	350,000	350,000
1年内償還予定の社債	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	122,715	112,745
未払法人税等	38,012	22,574
未払費用	80,034	101,966
賞与引当金	141,347	41,494
その他	183,707	182,392
流動負債合計	2,490,842	2,659,691
固定負債		
社債	350,000	50,000
長期借入金	340,348	257,714
退職給付引当金	654,071	583,620
その他	128,830	135,034
固定負債合計	1,473,249	1,026,368
負債合計	3,964,092	3,686,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,300	1,716,300
資本剰余金	1,599,813	1,599,813
利益剰余金	5,903,158	5,838,024
自己株式	△221,455	△221,889
株主資本合計	8,997,815	8,932,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,931	43,042
為替換算調整勘定	△58,338	△58,500
その他の包括利益累計額合計	△9,406	△15,458
純資産合計	8,988,409	8,916,789
負債純資産合計	12,952,501	12,602,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,406,283	6,409,078
売上原価	5,224,626	5,260,826
売上総利益	1,181,656	1,148,251
販売費及び一般管理費	1,130,083	1,212,734
営業利益又は営業損失(△)	51,573	△64,483
営業外収益		
受取利息	3,403	7,220
受取配当金	7,839	7,113
不動産賃貸料	60,763	60,759
助成金収入	6,439	11,614
為替差益	—	2,439
その他	10,544	13,209
営業外収益合計	88,989	102,358
営業外費用		
支払利息	8,447	11,680
売上割引	6,275	4,320
不動産賃貸原価	5,575	5,560
為替差損	16,994	—
その他	1,784	2,619
営業外費用合計	39,076	24,180
経常利益	101,485	13,694
特別利益		
受取保険金	3,475	—
抱合せ株式消滅差益	—	10,842
特別利益合計	3,475	10,842
特別損失		
固定資産除却損	448	196
投資有価証券評価損	2,651	—
特別損失合計	3,099	196
税金等調整前四半期純利益	101,861	24,339
法人税、住民税及び事業税	9,444	36,370
法人税等調整額	74,204	△7,496
法人税等合計	83,648	28,873
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,212	△4,533
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,212	△4,533

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	18,212	△4,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,146	△5,889
為替換算調整勘定	△8,253	△162
その他の包括利益合計	△41,399	△6,052
四半期包括利益	△23,186	△10,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△23,186	△10,586
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。